

特定健診受診勧奨に関する広告業務委託契約書（案）

広島県国民健康保険団体連合会を甲とし、 を乙として、甲と乙は、次のとおり委託契約を締結した。

(目的)

第1条 甲は、特定健診受診勧奨に関する広告業務（以下、委託業務という。）を乙に委託し、乙はこれを受託した。

(委託業務の内容)

第2条 乙が実施する委託業務の内容は、別紙「業務仕様書」のとおりとする。

(契約期間)

第3条 委託期間は、契約締結日から令和3年7月7日までとする。

(契約保証金)

第4条 契約保証金は、免除する。

(委託料)

第5条 甲は、委託業務の実施に要する費用（以下「委託料」という。）として
金 円（消費税額 円を含む。）を、乙に支払うものとする。

(再委託の禁止)

第6条 乙は、委託業務の全部または一部を第三者に委託し、又は請け負わせてはならない。ただし、あらかじめ、甲の書面による承諾を得た場合、再委託ができるものとする。

2 前項により再委託する場合、乙は再委託先に本契約に基づく一切の義務を遵守させるとともに、再委託先の行為について責任を負うものとする。

(報告書等の提出)

第7条 乙は、委託業務が完了したときは、業務完了報告書を、完了した日から起算して20日以内に甲に提出する。

2 前項により提出する業務完了報告書には、業務の履行を証明する書類（納入を証明する書類、掲出を証明する書類等）を添付し提出するものとする。

(委託料の支払)

第8条 乙は、前条の業務完了報告書を甲に提出し、甲の検査に合格したときは、速やかに委託料に係る請求書を甲に提出するものとし、甲は、適正な当該請求書の提出を受けた日から起算して30日以内に乙に支払うものとする。

2 甲が支払期日までに乙に対して委託料を支払わないときは、甲は、乙に支払期日の翌日から支払する日までの日数に応じ、未払いの委託料につき年 2.5 パーセントの割合で算定した金額を利息として支払うものとする。

(契約の解除)

第9条 甲は、次のいずれかに該当する場合は、この契約の全部又は一部を解除することができる。

(1) 乙が、この契約に違反したとき。

(2) 委託業務の実施につき、乙に不正の行為があったとき。

(3) 乙が、正当な理由がないのに甲の指示に従わないとき。

2 乙は、自己の責めに帰すべき理由によりこの契約が解除された場合には、第5条に定める委託料の額の10パーセントに相当する額を、違約金として甲に支払うものとする。

(損害賠償)

第10条 乙は、自己の責めに帰すべき理由により委託業務の履行が遅滞したときは、遅延日数に応じ、甲が委託業務の未履行分に相当する委託料として定める額につき年14.5パーセントの割合で算定した金額を損害賠償金として甲に支払うものとする。

(天災などによる履行不能)

第11条 乙は、天災その他やむを得ない理由により、委託業務の遂行が困難となったときは、速やかにその旨を申し出るものとする。

(著作権)

第12条 乙が、委託事業の実施により取得した著作権及び成果物に対する著作権は、甲に帰属するものとする。

(資料の貸与など)

第13条 乙は、委託業務の実施について必要に応じ甲と協議を行い、甲の指示を受けるものとする。

2 甲は、甲の所有する資料等を委託業務に必要な範囲内で貸与することができる。乙は貸与された資料等を委託業務の実施以外の目的に使用してはならない。

(管轄裁判所)

第14条 本契約に関する一切の紛争については、甲の所在地を管轄する裁判所を専属管轄裁判所とする。

(疑義の解決)

第15条 この契約に定める事項に疑義が生じた場合又はこの契約に定めのない事項で必要がある場合は、甲及び乙が協議して定めるものとする。

この契約の締結を証するため、契約書2通を作成し、甲と乙が記名・押印をして、各自その1通を所持する。

令和 年 月 日

甲 : 広島市中区東白島町19番49号
広島県国民健康保険団体連合会
理事長 入山 欣郎

乙 :